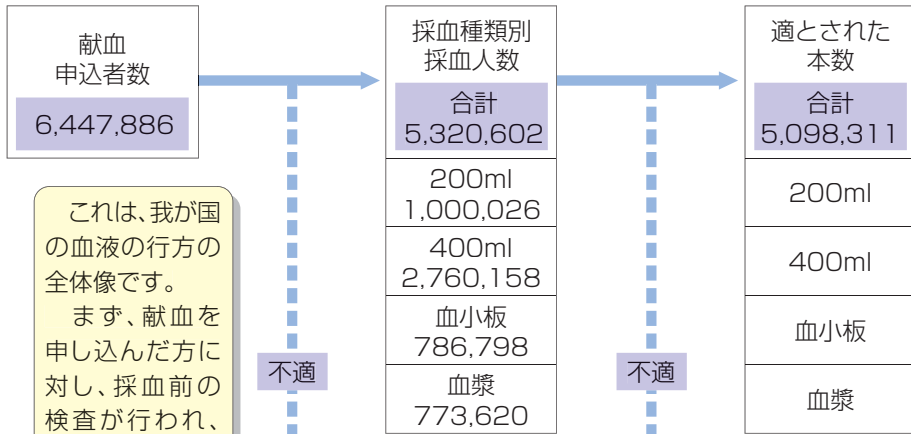


我が国における血液



これは、我が国の血液の行方の全体像です。
まず、献血を申し込んだ方に対し、採血前の検査が行われ、問診により健康状態が確認されます。

	不適人数
採血基準	544,654
問診①	57,249
問診②	169,996
その他	355,385
合計	1,127,284

※

※問診①②については
22ページ参照

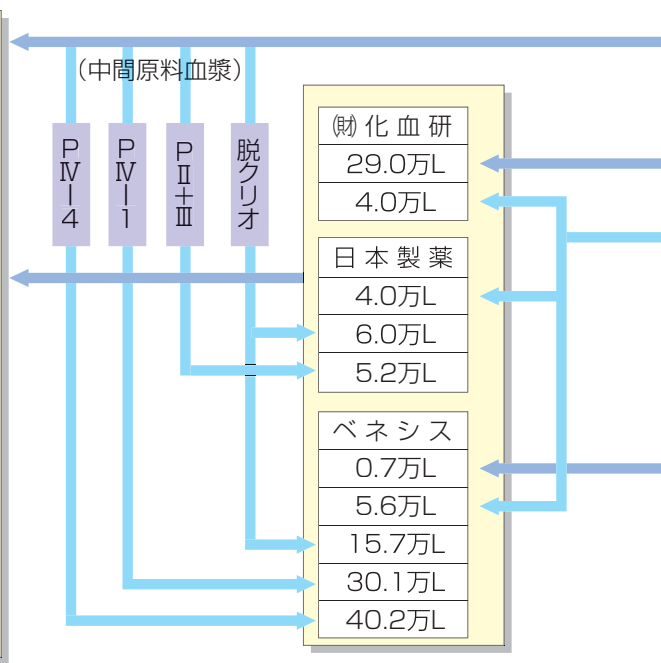
不適人数	内 訳	
222,291	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	8,425	
HBV	26,964	102
HCV	3,739	11
HIV	1,347	2
HTLV-1	7,198	
B19	306	
不規則	15,245	
肝機能	107,872	
その他	58,372	
延人数	229,468	115

採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。
ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。
輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

- <輸入>
- 製剤・血漿
 - ・アルブミン製剤
 - ・組織接着剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・抗HBsIG製剤
 - ・抗D(Rho)IG製剤
 - ・抗破傷風IG製剤
 - ・ATⅢ製剤
 - ・人ハプトグロビン
 - ・C1-インアクチベータ
 - ・血漿
 - ・中間原料
 - 遺伝子組換え
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・第Ⅶ因子製剤

- 血漿分画製剤(17年度自給率)
- アルブミン製剤…………… 53.7%
 - 第Ⅸ因子製剤…………… 100%
 - - フィブリノゲン製剤
 - トロンビン製剤
 - 活性化プロテインC
 } 100%
 - 組織接着剤…………… 45.3%
 - 第Ⅷ因子製剤…………… 100%(血漿)
…………… 39.3%(組換含)
 - - インヒビター製剤
 - 第Ⅷ因子製剤
 - 抗D(Rho)IG製剤
 - 抗破傷風IG製剤
 - C1-インアクチベータ
 } 0%
 - 人ハプトグロビン…………… 46.7%
 - 免疫グロブリン製剤…………… 88.6%
 - 抗HBsIG製剤…………… 2.6%
 - ATⅢ製剤…………… 94.9%



の行方（平成17年版）

